

第16回 市町村対抗福島県軟式野球大会

今大会の成績

1回戦 対矢祭町

会場：ほばら大泉球場（伊達市）

	1	2	3	4	5	6	7	計
矢祭町	1	0	0	1	0			2
西会津町	0	2	5	2	X			9

[大会規定により5回コールド勝ち]

2回戦 対浪江町

会場：小野あぶくま球場（小野町）

	1	2	3	4	5	6	7	計
西会津町	2	0	3	0	0	0	3	8
浪江町	0	0	0	1	0	0	4	5

3回戦 对本宮市

会場：しらすわグリーンパーク野球場（本宮市）

	1	2	3	4	5	6	7	計
本宮市	0	0	0	0	0	1	2	3
西会津町	0	0	2	0	0	2	X	4

準々決勝 対矢吹町

会場：県営あづま球場（福島市）

	1	2	3	4	5	6	7	計
矢吹町	0	0	0	0	0	0	3	3
西会津町	0	0	0	0	0	0	0	0



西会津町チーム 快進撃！ 初の8強に進出

今年で16回目となる市町村対抗福島県軟式野球大会が、9月10日～10月2日にかけて県内各地の球場で開催されました。西会津町チームの過去最高成績は第13回大会のベスト16。「ベスト8以上進出」を目標に掲げて臨んだ今大会は、1回戦の矢祭町戦を5回コールド勝ちで好スタートを切ると、その後もチーム一丸となって勝ち進み、初の準々決勝・ベスト8に進出しました。

今月号では、約1カ月にわたり繰り広げられた熱い戦いの模様をお届けします。（写真中央は矢吹町戦で先発投手を務めた三留怜央選手）

熱戦を繰り広げた1カ月
今大会初戦の1回戦は、9月10日に矢祭町と対戦。2回に相手のエラーなどで先制すると、3回の岩原隼選手（いわはら はると）の2点三塁打などで着実に加点し、9対2で5回コールド勝ちを収めました。

続く2回戦は、同23日に浪江町と対戦。初回から三留怜央選手（みどあれ）のランニング本塁打で幸先よく先制し、好調の打線は7回までに8得点を叩き出します。先発投手の遠藤航選手（えんどう かつら）は6回まで1失点と好投しますが、最終回に相手打線が粘りを見せ、8対5で逃げ切りました。

3回戦は雨天による順延を受け、翌々日の同25日に本宮市と対戦。3回に主将の赤城圭泰選手（あかぎ けいたか）の二塁打で先制しますが、緊迫した試合展開となります。本宮市の猛攻を振り切り、4対3で初のベスト8進出を決めました。

10月1日の準々決勝は矢吹町と対戦。この試合は6回まで0対0の投手戦となりまし

たが、7回に守備の乱れから矢吹町に得点を許し、0対3で悔しい敗戦となりました。

新たな目標に向かって
準々決勝・矢吹町戦後の星光輔監督に話を聞きました。



西会津町チーム
ほしこうすけ 星光輔 監督

今大会は、約1カ月間にわたって参加できたことがチームにとって良い経験になりました。6年間監督をやらせてもらっていますが、大会を終えて、ようやくここ（ベスト8）まで勝ち進むことができたと嬉しさと、ベスト4までいけたのではないかと悔しさの両方の気持ちを感じています。

ベスト8進出がこれまでの目標でしたが、これからはベスト4以上という新たな目標ができたので、来年に向けてまた頑張っていきたいです。

西会津町チームの皆さん、お疲れ様でした！

